

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 第4回 本部会

令和7年7月24日（木）

午後5時30分～7時45分

於 サウスピア 武蔵浦和コミュニティセンター第7・8集会室

次 第

教育長挨拶

参加者自己紹介

説明会について

【議事】

- 1 各ワーキンググループからの活動報告について
 - （1）校名・移行イベントより（校名アイデア募集の現状報告）
 - （2）通学区域より（通学区域等について）
- 2 「未来の姿」原案について
- 3 その他

【事務連絡】

- （1）次回の開催について
第5回本部会については、10月に開催予定です。開催1か月前を目途に、
通知いたします。

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 本部会

第 4 回

令和 7 年 7 月 2 4 日

教育委員会事務局 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備室

次第

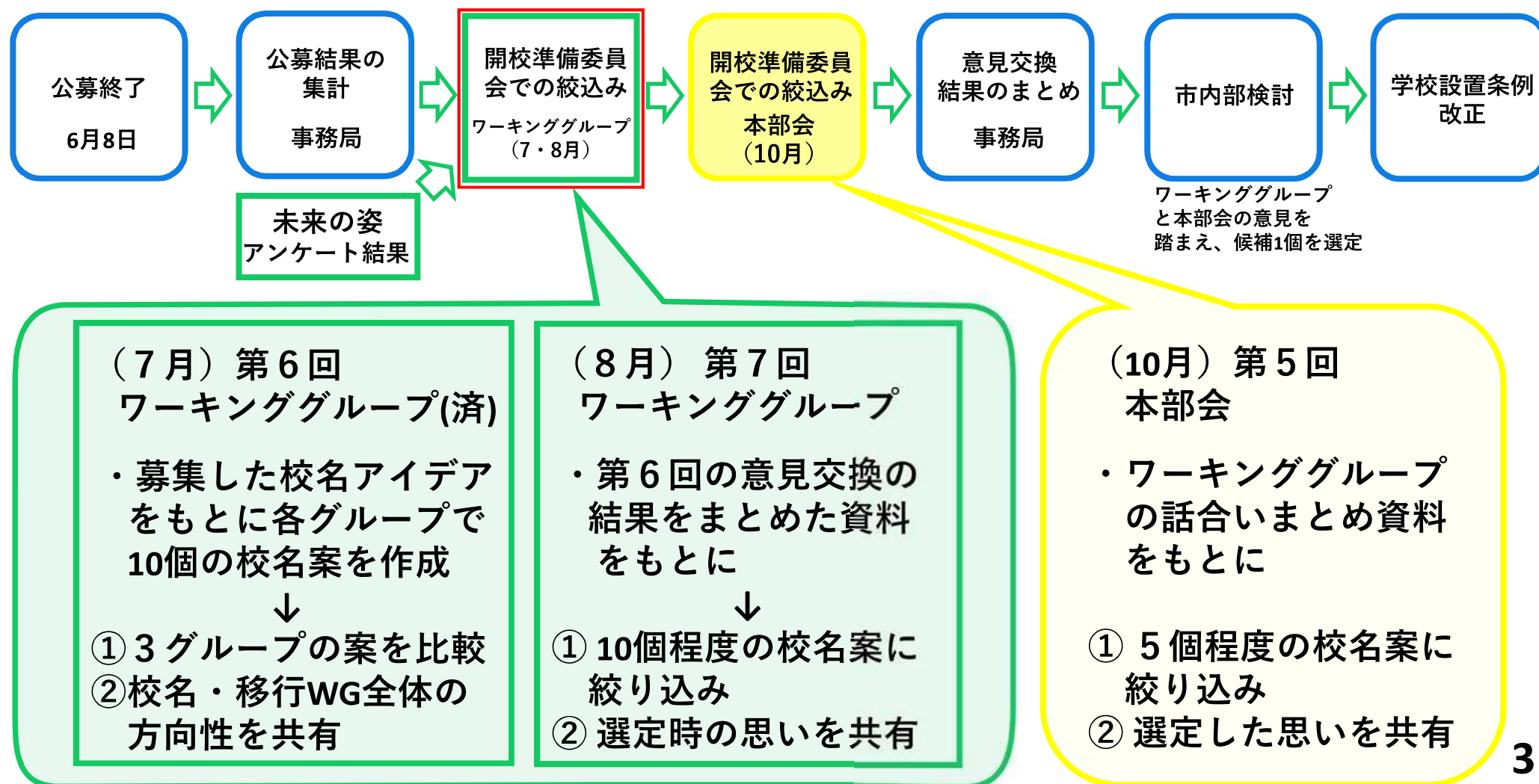
- 1 各ワーキンググループからの活動報告について
 - (1) 校名・移行イベントより（校名アイデア募集の現状報告）
 - (2) 通学区域より（通学区域等について）
- 2 「未来の姿」原案について
- 3 その他

1. 各ワーキンググループからの活動報告 (1) 校名・移行イベントより (校名公募について)

■ 応募状況

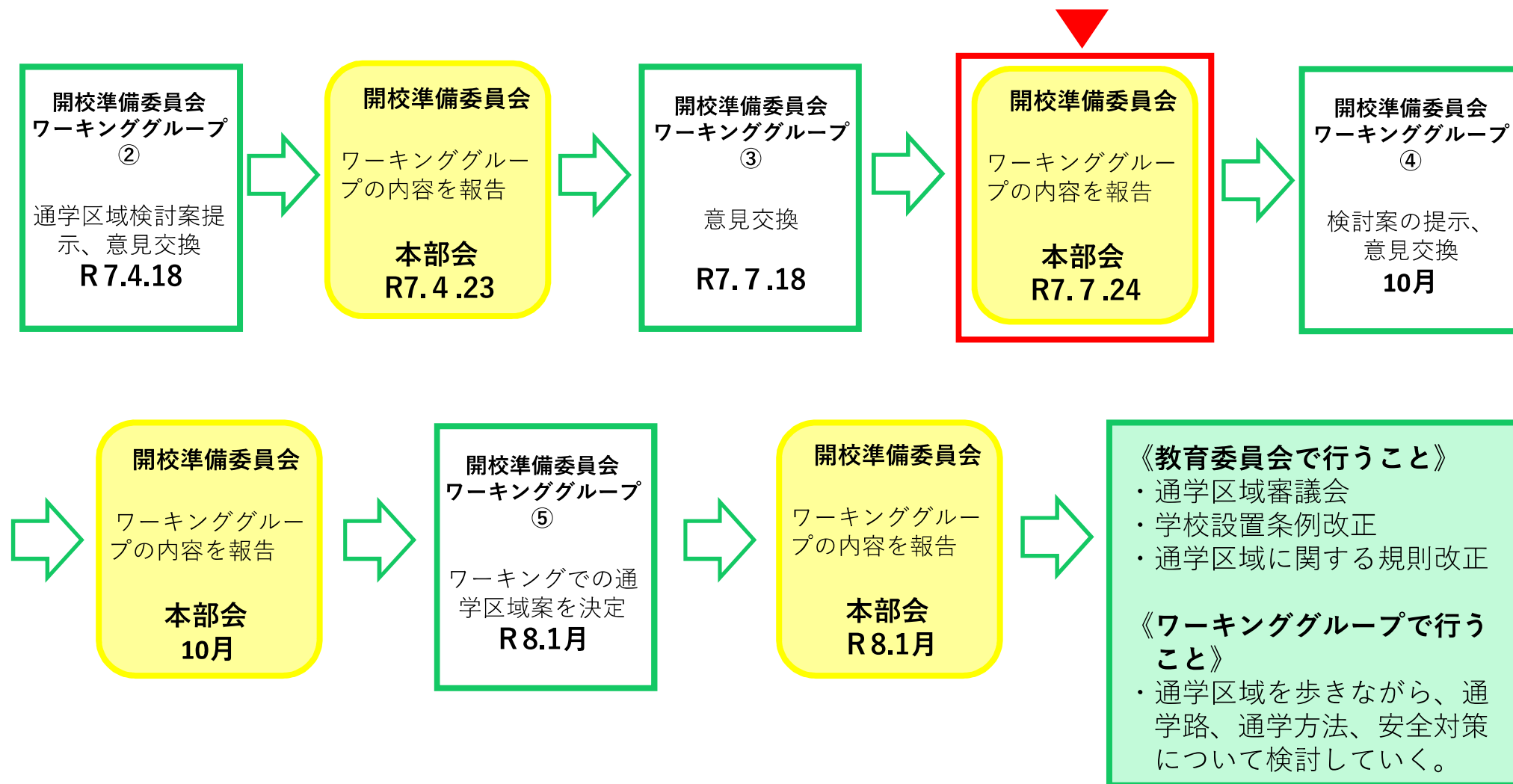
＜応募件数＞ 計 **1,353件** (うち在校生1,107件)

■ 校名選定の現状とその後の校名検討の流れ



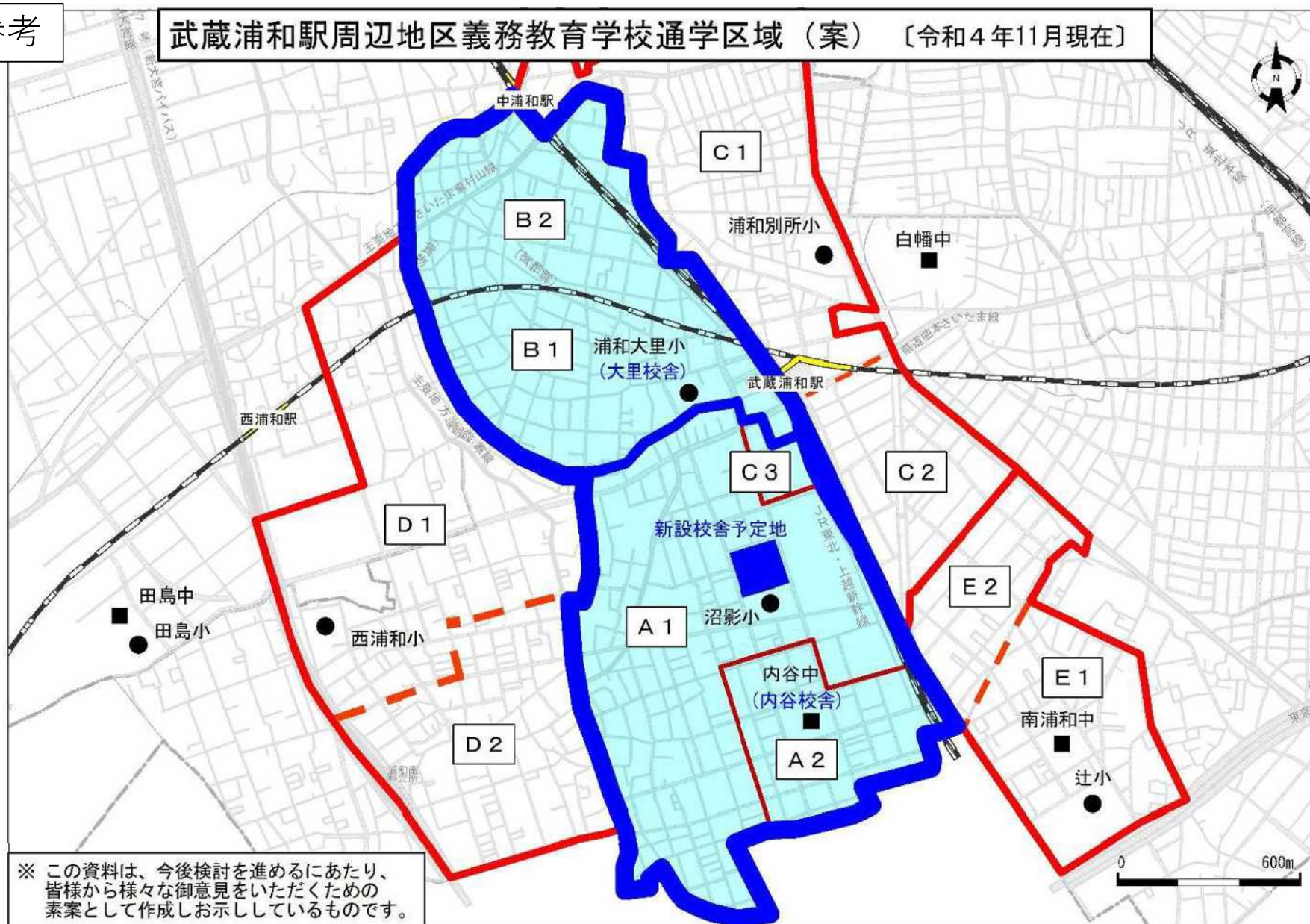
1. 各ワーキンググループからの活動報告 (2) 通学区域より (通学区域等について)

■ スケジュール



1. 各ワーキンググループからの活動報告 (2) 通学区域より (通学区域等について)

参考



1. 各ワーキンググループからの活動報告 (2) 通学区域より (通学区域等について)

参考

現在

開校後

	小学校	中学校
A1	沼影小※1	内谷中
A2		内谷中
B1	浦和大里小	内谷中・(白幡中)※2
B2		白幡中
C1	浦和別所小 ※3	白幡中
C2		内谷中
C3		内谷中
D1	西浦和小	田島中
D2		内谷中・(田島中) ※2
E1	辻小	南浦和中
E2		内谷中・(南浦和中) ※2

	義務1～4年	義務5～9年
A1 A2 C3	内谷校舎 (現 内谷中)	沼影新設校舎
B1 B2	浦和大里校舎 (現 浦和大里小)	
	小1～6年	中1～3年
C1 C2	浦和別所小	白幡中
D1 D2	西浦和小	田島中
E1 E2	辻小	南浦和中

※1 A2の指定校は、辻小学校・沼影小学校です。

※2 (〇〇中)は特定地域(許可校)です。

※3 C3は令和7年度より沼影小も選択できる特定地域に設定

1. 各ワーキンググループからの活動報告 (2) 通学区域より（通学区域等について）

ワーキンググループの実施状況

■ 実施日：7月18日（第3回）

第2回目WG（R7.4月）での御意見を踏まえ、①～③について意見交換を行った。

■ 参加者からの主な御意見

① D2エリア、C2エリア、D1エリア、E2エリアを特定地域に設定することについて・開始学年について

⇒ ・開校時期が未定のため、通学区域を決定することは難しい。

・ D2エリアについては特定地域としてほしい。

② 沼影1丁目のうち、田島通りより北側の1～6番を浦和大里校舎の通学区域にすることについて

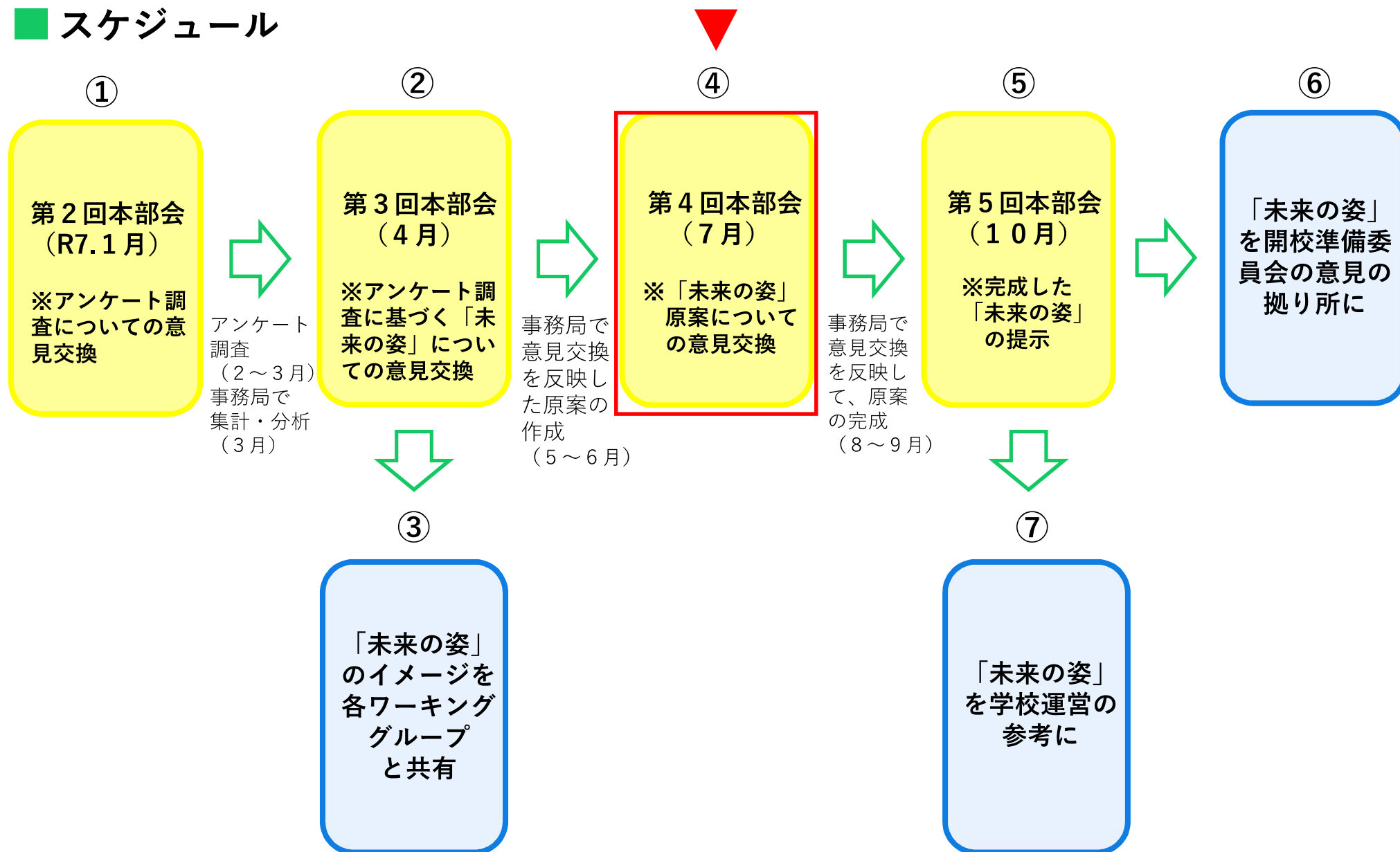
⇒ ・概ね問題ないのではないかと。

③ スクールバスの運用について

⇒ ・前例がないことは理解したが、昔に比べ夏は非常に暑く、教科書やタブレット等で荷物も重くなっている。既存の考え方ではなく、新しい発想で考えて欲しい。

2. 「未来の姿」原案について

■ スケジュール



2. 「未来の姿」原案について（前回の意見交換）

■ 子ども（児童生徒）が学ぶ場として

- ・ 小中一貫教育カリキュラムを整備し、効果的な学びを準備する。（Aグループ）
- ・ 4年生が最上級生となることで、成長が期待される。（Aグループ）
- ・ 5、6年生は7～9年生を憧れの存在として成長する。（Aグループ）
- ・ 9年間のカリキュラムの中で各校の強みを継承する。（Bグループ）
- ・ 多人数により多様なクラブ活動が可能。（Cグループ）
- ・ 地域、保護者の力を取り入れた活動ができる。（Cグループ）
- ・ 異年齢交流を工夫し、校舎の垣根を越えた交流が可能。（Cグループ）

■ 子ども（児童生徒）が学校生活を営む場として

- ・ 大人数での交流が成長のきっかけになる。（Aグループ）
- ・ 「希望」をキーワードにした目指す姿が望ましい。（Aグループ）
- ・ クラブ・部活動の運営をしっかりと考える必要がある。（Aグループ）
- ・ 日常的な異学年交流を促進し、多様性を取り入れる。（Bグループ）
- ・ 大規模な活動を通じて新たな繋がり方を構築する。（Bグループ）
- ・ 大規模校の強みを生かす。（Cグループ）
- ・ 多様な考えや価値観を学校生活に活かす。（Cグループ）

2. 「未来の姿」原案について（前回の意見交換）

■ 地域の核（拠点）として

- ・ 地域との交流が子どもの成長に重要。（Aグループ）
- ・ 安全・安心な学校づくりが重要。（Aグループ）
- ・ 地域の願いと子どもの思いの両方を大切にする。（Aグループ）
- ・ 目標と手段を整理し、「未来の姿」を推進する。（Bグループ）
- ・ 南区の顔となる学校を目指す。（Bグループ）
- ・ 地域の大人が教育活動に関わることで、地域全体の学びの場となる。（Bグループ）
- ・ 地域の教育力を取り入れ、「地域とともにある学校づくり」に活かす。（Cグループ）
- ・ 子ども・大人双方にとって学びの場となる。（Cグループ）
- ・ 保護者同士の価値観共有・交流の場としての役割。（Cグループ）
- ・ 多様性を尊重し、多様な人材を活用する。（Cグループ）

■ 教職員の役割と働く場として

- ・ 小中の先生が共に生活することで新たな連携が生まれる。（Aグループ）
- ・ 沼影小では小中一貫教育の研究を進めており、開校時に確立した形を示す予定。（Aグループ）
- ・ 来年度に研究発表を予定。（Aグループ）
- ・ 教職員が小中一貫教育の中で資質を磨く場となる。（Bグループ）
- ・ 縦横の繋がりを楽しむ教職員集団が子どもに良い影響を与える。（Bグループ）
- ・ 地域・保護者との活動が教職員の心の余裕につながり、子どもに寄り添える。（Cグループ）

2. 「未来の姿」原案について

～第3回本部会の原案にいただいた意見を反映したもの～

子ども（児童生徒）が学ぶ場として

9学年の幅広い交流の機会を通して一人ひとりの可能性を広げられる学校

地域人材を活かした、豊かな学習のできる学校

校舎内・校舎間（縦の繋がり・横の繋がり）から生まれる多くの交流を通じ楽しく勉強でき居心地のよい学校

様々な行事の中で、4年生がリーダーとして成長できる学校

9年間を見通し、各校の強みや小中の繋がりを意識した系統立てられたカリキュラムが編成されている学校

子ども（児童生徒）が学校生活を営む場として

多様な考えや価値観を尊重し、活かし合うことのできる学校

教職員の目が行き渡り、子どもたちに寄り添う学校

安全に登下校ができ、学校内においても安全に生活できる学校

日頃から1～9年生が協力し合って生活し、多くの交流の中で絆を深められる学校

校舎間の交流を通じ互助的な精神を育成する学校

たくさんの人と繋がる、希望溢れる学校

地域の核（拠点）として

多様な人材を活かし、地域から学び、地域も学ぶ学校

笑顔とあいさつで地域の交流が豊かになり、皆で助け合う気持ちが高まる安全・安心な学校

学校を中心にした絆が地域の力を高め、人々に安心と生きがいを与える学校

子どもたちと地域との活発な交流で、9年間をわくわく主体的に学べる学校

親しみと愛着で地域から愛され、誰にとっても生涯の学びの拠点となる学校

南区の顔、交流の拠点となる学校

教職員の役割と働く場として

小・中・校舎間の垣根を越えたそれぞれの教職員の交流による新たな連携と進化を生む学校

子どもに信頼され、適切に関われる教職員集団である学校

9年間の成長を教員・地域・保護者のチームとして見守る学校

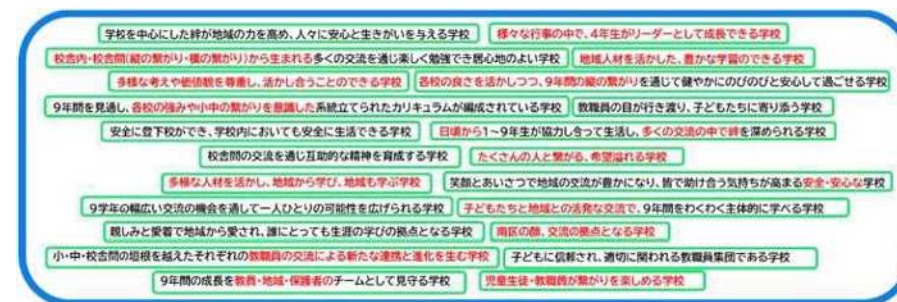
児童生徒・教職員が繋がりを楽しめる学校

2. 「未来の姿」 原案について

①事務局作成「未来の姿」 原案の内容を確認する。



②これらの「未来の姿」からそれぞれの良さ、重要なセンテンス、光るワードなどを話し合う。



③これまでカテゴライズしてきた4つの視点を貫く柱を考える。

例：地域とともに学び、多様な考えを尊重し活かせる学校

2. 「未来の姿」 原案について

例：地域とともに学び、多様な考えを尊重し活かせる学校



学校を中心にした絆が地域の力を高め、人々に安心と生きがいを与える学校

様々な行事の中で、4年生がリーダーとして成長できる学校

校舎内・校舎間(縦の繋がり・横の繋がり)から生まれる多くの交流を通じ楽しく勉強でき居心地のよい学校

地域人材を活かした、豊かな学習のできる学校

多様な考えや価値観を尊重し、活かし合うことのできる学校

各校の良さを活かしつつ、9年間の縦の繋がりを通じて健やかにのびのびと安心して過ごせる学校

9年間を見通し、各校の強みや小中の繋がりを意識した系統立てられたカリキュラムが編成されている学校

教職員の目が行き渡り、子どもたちに寄り添う学校

安全に登下校ができ、学校内においても安全に生活できる学校

日頃から1～9年生が協力し合って生活し、多くの交流の中で絆を深められる学校

校舎間の交流を通じ互助的な精神を育成する学校

たくさんの人と繋がる、希望溢れる学校

多様な人材を活かし、地域から学び、地域も学ぶ学校

笑顔とあいさつで地域の交流が豊かになり、皆で助け合う気持ちが高まる安全・安心な学校

9学年の幅広い交流の機会を通して一人ひとりの可能性を広げられる学校

子どもたちと地域との活発な交流で、9年間をわくわく主体的に学べる学校

親しみと愛着で地域から愛され、誰にとっても生涯の学びの拠点となる学校

南区の顔、交流の拠点となる学校

小・中・校舎間の垣根を越えたそれぞれの教職員の交流による新たな連携と進化を生む学校

子どもに信頼され、適切に関われる教職員集団である学校

9年間の成長を教員・地域・保護者のチームとして見守る学校

児童生徒・教職員が繋がりを楽しめる学校

2. 「未来の姿」 原案について

○意見交換（メモとして使ってください）

次回の本部会は
10月下旬開催予定です。

本日はご参会頂き、
ありがとうございました。